

エオリアが 育んだゴボウ

風による堆積物、「風成塵」。

ギリシャの風の神にちなんで「エオリアンダスト」ともいう。

秋吉台には特異的に厚くたまっており、これを使ってゴボウが栽培されている。

土壌のでき方

山の表面は、軟らかな土壌で覆われていることが多い。そうした土壌は雨によって削られて、川へ流出していく。それでも山の土壌がなくならない理由は、流出すると同時に新たに作られ続けているからだ。

では、土壌の起源は何であろうか。メインとなるのは風化した岩盤である。その土壌の特徴はその地域の岩盤の地質に左右される。例えば花こう岩は、風化によって粘り気の少ない粒子に変化する。これに植物の腐植物が混ざると土壌となる。

土壌には、わずかながら風によって遠方から運ばれてきた風成塵が含まれることがある。

風成塵は世界中に存在し、ギリシャ神話の風の神にちなんで「エオリアンダスト」と呼ばれることがある。日本で見ることができ、エオリアンダストとしては、春先の黄砂がなじみ深い。しかし風成塵は、岩盤からできる土壌に対して、量的には極々わずかである。そのため風成塵でできた厚い地層はめったに見ることはできない。

溶けるカルスト台地と赤い土壌

黄砂が多量に飛来する本州西部の秋吉台は、石灰岩からなるカルスト台地である。石灰岩は雨水に容易に溶けるため、独特の溶食地形や、鍾乳洞などが形成される。特に秋吉台の石灰岩は、